MAFF
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
農林水産省

Kobe Plant Protection Station

神戸植物防疫所

植物防疫所の仕事

植物防疫所公式キャラクター
ぴーきゅん

輸入検疫

輸入果物や穀類などを検査し、水際で病害虫の侵入を防ぐ

輸出検疫

外国の検疫条件にあわせて果物や盆栽などを輸出前に検査

ターゲットは世界中の植物とその病害虫！
海空港で　生産地で　研究室で
日本の農業と緑を守る

国内検疫

日本に侵入する可能性がある病害虫の早期発見、国内(一部)にいる病害虫のまん延を防止

調査研究

最新の情報を収集、調査・研究し、最先端の技術を応用し業務に活かす

先輩からのメッセージ

一般職(大卒)化学・R4採用

私は輸入検疫担当で、海外から輸入されるオレンジ、タマネギ等の青果物やカーネーション、キク等の切り花、牧草や穀類の検査を行っている他、クルーズ船やフェリーで旅客の携帯品検査も行っています。

化学採用の私は、農学や病害虫に関する知識が無かったため、入省当初は業務をこなせるか不安でしたが、入省１年目に初任者向けの害虫・病菌・線虫・法令の研修があり、そこで必要な知識や技術を一から学習できる上、経験豊富な上司のサポートもあるので、今は楽しく業務に励んでいます。

少しでも興味がある方はぜひ説明会に参加してみてください。

１日のスケジュール

8：30	業務開始、検査準備
9：00	コンテナヤードで輸入検査
11：00	検査で発見した病害虫の同定、書類の記入等
12：15	昼休憩
13：00	申請書の受付、照会対応
17：15	業務終了

一般職(大卒)農学・R5採用

私は輸出検疫担当で、日本から海外へ輸出される青果物や種子、木製品などの検査を行っています。植物検疫を通じて日本の魅力的な農産物を海外の方にも知ってもらうことに携われていると思うと、とてもやりがいのある仕事です。

植物の病害虫に関する知識は大学の講義で学んだ程度でしたが、充実した研修や周囲の先輩のサポートがあるので安心して働くことができています。

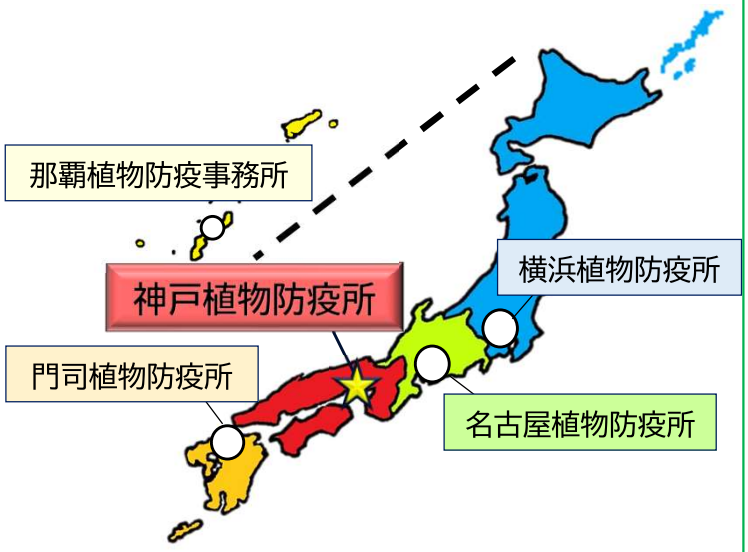
植物防疫所ではインターンシップも実施しているので、　ぜひ植物防疫官の仕事を体験してみてください。

１日のスケジュール

8：30	業務開始、メールチェック
9：00	種子の精密検定作業
12：00	昼休憩
13：00	倉庫での輸出検査
15：00	申請書の受付、照会対応
17：15	業務終了

基本情報

全国の港・空港等に5本所・16支所・35出張所



人事異動

概ね2～3年で異動(転居を伴わない場合も含む)し、様々な業務を経験します。
全国の植物防疫所だけでなく農林水産本省、国際機関、海外で働く機会もあります。

職員数

神戸植物防疫所：230名(全国約1,000名)

両立支援（神戸植物防疫所）

○ 育児休業取得率：男女ともに100%
（男性職員＝国家公務員目標値以上）
○ 配偶者出産休暇取得率：100%
育児参加のための休暇取得率：100%

フレックスタイム制度（神戸植物防疫所）

仕事と生活の調和を図るための柔軟な働き方により、現在12名が同制度を活用中。

主な研修体系

採用後１年以上の実務期間を経て植物防疫官試験に合格後、
植物防疫官として検査をする資格が与えられます。

採用 → 初任者研修 → 植物防疫官試験 → フォローアップ研修 → 専門研修 → エキスパート育成研修

採用：一般職(大卒程度)
農学・化学・林学

初任者研修：【採用年】

フォローアップ研修：【3～5年】
植物防疫官発令
2年目

専門研修：【5年目以降】
害虫、線虫、病菌、海外検疫等
分野毎の知識・技術を深める

様々な研修が充実しているので、害虫や植物病理の知識がなくても心配ないよ！

- 遺伝子診断
- 語学　・行政官関連
- OJT　ゼミナール
- 同定識別講習　など

お気軽にお問い合わせください

植物防疫所　採用情報
https://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/recruit/index.html

農林水産省 神戸植物防疫所 庶務課人事係
〒650－0042　神戸市中央区波止場町1－1
神戸第2地方合同庁舎内
TEL:078－331－2806　Email:pps_kobe_shomu@maff.go.jp

植物防疫所　採用　検索